

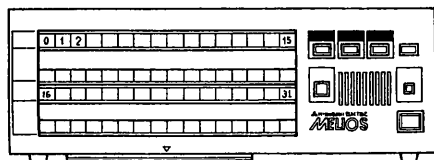
三菱 運風暖房機方式「クリーンヒーター」  
全熱交換形換気機器「ロスナイ」 集中管理システム

## VCL-32M<sub>2</sub> VCL-01S<sub>2</sub>・VCL-01SG

取扱説明書

お客さま用

# MELIOS



### 目次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1 各部の名称            | 1  |
| 2 特に注意していただきたいこと   | 3  |
| 3 使用方法             | 5  |
| ● クリーンヒーターの運転準備    | 5  |
| ● 運転開始             | 6  |
| ● 運転停止             | 7  |
| ● キーロックスイッチ機能      | 8  |
| ● リクエスト機能          | 8  |
| ● 警報音量調節           | 8  |
| ● 付属電源コンセント        | 8  |
| ● 別置サーモ            | 9  |
| ● 機能選択             | 9  |
| ● 通信モード            | 9  |
| 4 故障・異常の見分けかたと処置方法 | 10 |
| 5 保管               | 11 |
| 6 仕様               | 12 |
| 7 アフターサービス         | 13 |
| 8 定期点検             | 14 |
| 9 子機の登録            | 15 |

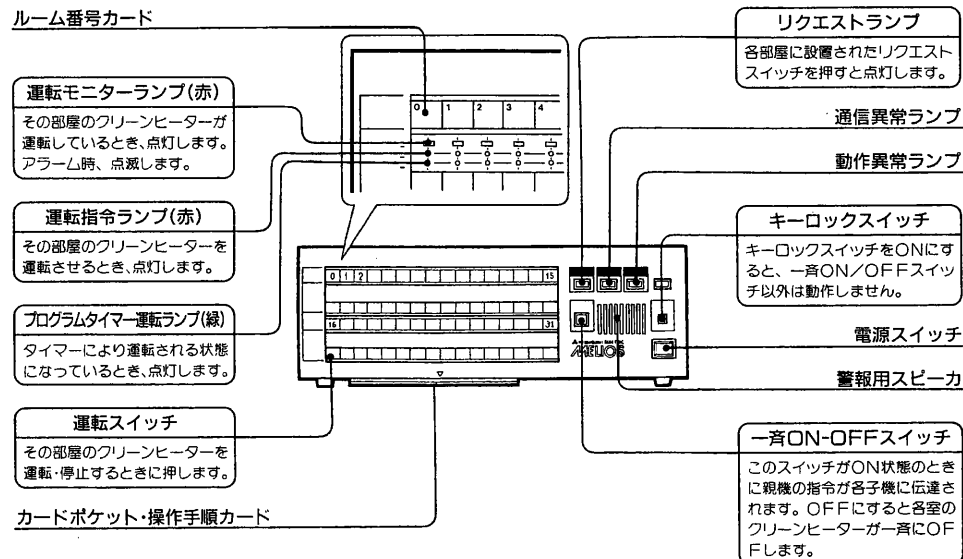
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。ご使用の取扱説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きつとお役に立ちます。

# 1 各部の名称

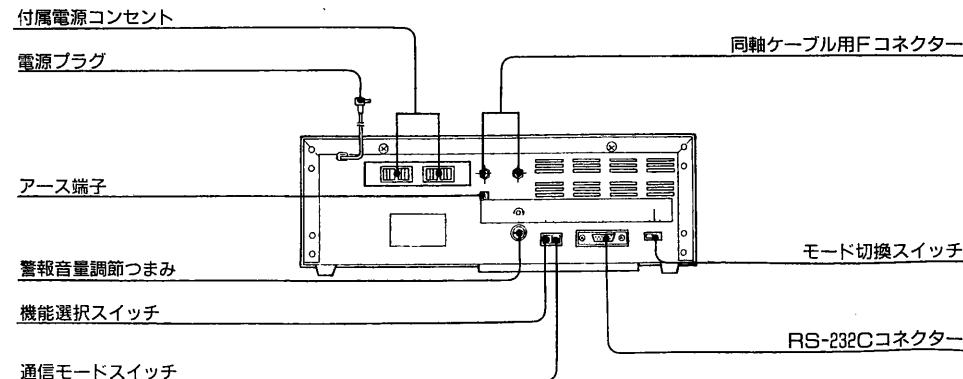
この集中管理システムは親機・子機によって各部屋に設置された「ガスクリーンヒーター」・「ロスナイ」などの運転・停止を行うとともに運転状態をモニターするものです。各部屋の温度調節は各「ガスクリーンヒーター」により行ってください。

## 外観図・親機

### 〈正面〉

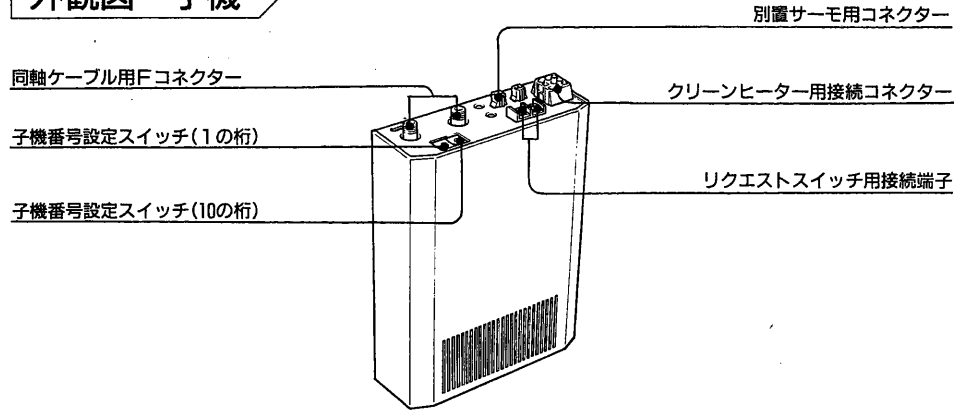


### 〈背面〉

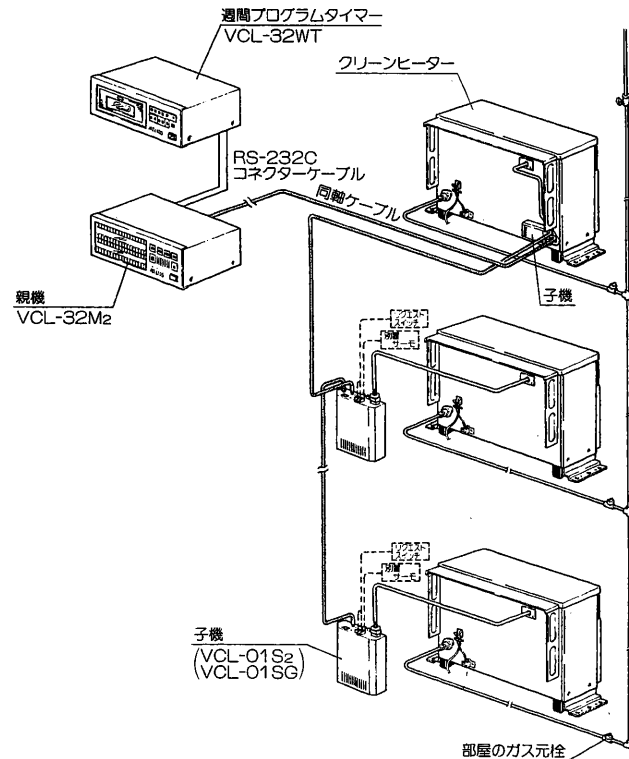


# 2 特に注意していただきたいこと

## 外観図・子機

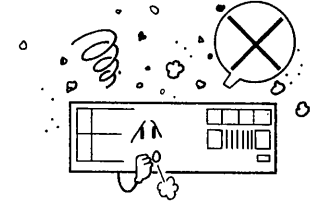
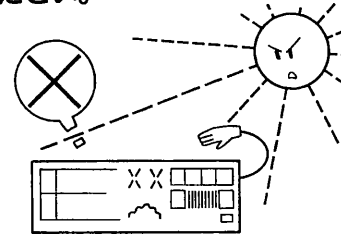


## システム概要図

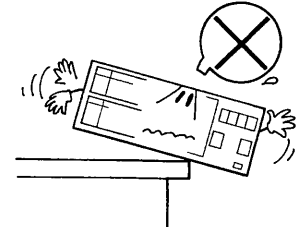
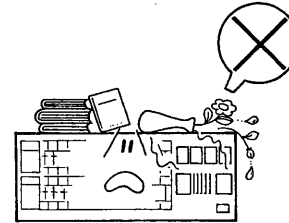


## 使用上の注意

- 1 暖房器具の近くや、直射日光の当たるところなど、高温になるところや、湿気の多いところには設置しないでください。
- 2 ほこりの多い場所には設置しないでください。  
なるべく風通しのよい場所に設置して、本体底部の通風穴をふさがないように注意してください。

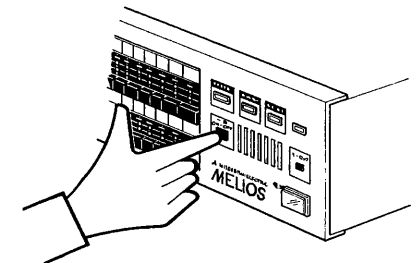


- 3 本体の上には花びんなどを置かないでください。  
●水がこぼれて内部に入りますと、漏電または故障の原因になります。
- 4 本体が落下するようなところには設置しないでください。  
落下防止および複数台設置の場合には親機に付属の取付金具で固定してください。



## 運転・停止のご注意

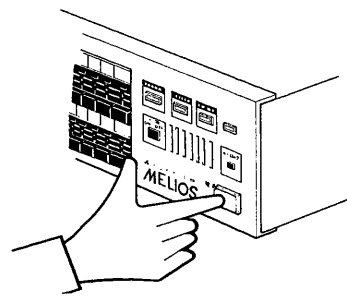
- 1 電源プラグを抜いての停止や、電源スイッチを切つての停止は絶対にしてしないでください。  
運転停止は一斉 ON-OFFスイッチまたは運転スイッチで行い、各部屋の運転モニターランプ(赤)が消えることを確認してください。



週間プログラムタイマーが接続されている場合は週間プログラムタイマーに付属の「取扱説明書」を参照してください。

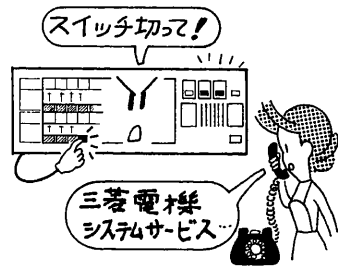
# 3 使用方法 (1)

- ② 電源スイッチをいったん「OFF」にしたら、約5秒経過するまで「ON」させないでください。  
故障の原因となります。

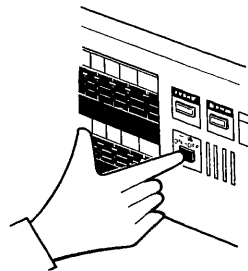


## 異常時の処置

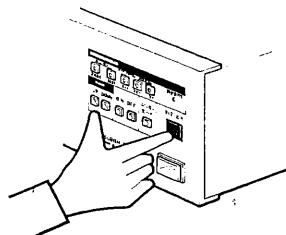
- ① 万一、動作異常・通信異常・及び緊急の場合は、異常の原因を調べ、緊急の危険(ガス漏れ事故など)を回避したうえで、10ページの故障・異常の見分け方と処置方法により処置をした後、「工事業者または三菱電機システムサービス㈱」に連絡してください。



- ② 暖房運転中、停電したときは各「グリーンヒーター」は自動的に停止し、親機も運転指令を解除します。再通電されましたら一斉ON-OFFスイッチを押して、スイッチ内部のランプ(緑)が点灯することを確認してください。  
(親機は子機に対して停電前の状態で運転指令を送信し、各「グリーンヒーター」は運転を再開します。)



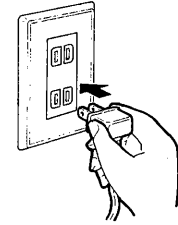
- ③ 週間プログラムタイマー (VCL-32WT) 使用によるプログラム運転を行っている場合は、タイマーの、タイマー出力スイッチ内部のランプ(緑)が点灯していることを確認してください。消えている場合は、タイマー出力スイッチを押して、ランプが点灯することを確認してください。



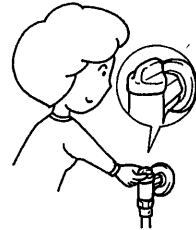
〈週間プログラムタイマー操作部〉

## クリーンヒーターの運転準備

- 電源プラグをコンセントに差込みます。

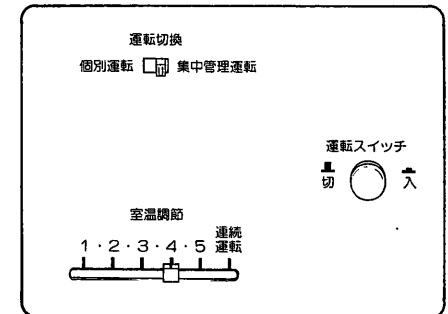


- 部屋のガス元栓を全開にします。



- 運転切換スイッチの操作と室温調節。

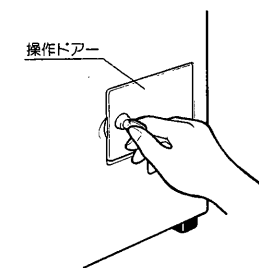
- ① 「グリーンヒーター」の運転切換スイッチを「集中管理」運転にしてください。
- ② 運転スイッチを「入」にしてください。
- ③ 設定温度をお好みの温度に設定してください。



〔グリーンヒーターの機種により異なりますので、ご使用のグリーンヒーターに同梱の「取扱説明書」を参照してください。〕

- 操作ドアの鍵を確認してください。

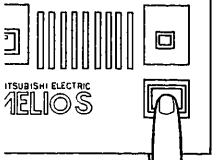
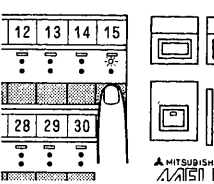
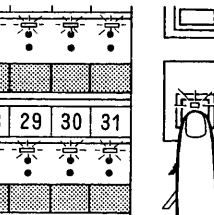
- 「グリーンヒーター」の操作部には鍵が付いています。  
誤って操作されないよう操作しないときは必ず鍵を掛けてください。  
● 鍵は大切に保管してください。



その他、運転準備は「グリーンヒーター」に同梱の「取扱説明書」に従って行ってください。

# 3 使用方法 (2)

## 運転開始

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 電源プラグをコンセントに差込み、電源スイッチを押し「ON」にします。  |  |
| 2 | 運転させたい子機（クリーンヒーター）の運転スイッチを押します。<br>●運転指令ランプ（赤）が点灯します。   |  |
| 3 | 一斉ON-OFFスイッチを押します。<br>●一斉ON-OFFスイッチ内部のランプ（緑）が点灯します。<br>●子機に信号が送られ、「クリーンヒーター」が運転を始めると運転モニターランプ（赤）が点灯します。 |  |

■週間プログラムタイマーを使用の場合は、週間プログラムタイマーに付属の「取扱説明書」を参照してください。

### 〔ご注意〕

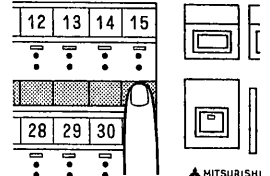
- 「クリーンヒーター」が運転に入る前に自動的にチェックを行うため、運転指令を行ってから「クリーンヒーター」が点火動作に入って運転モニターランプが点灯するまでに10数秒かかります。
- 一斉ON-OFFスイッチランプ（緑）が点灯していないときは、運転指令ランプおよびプログラム運転ランプが点灯しても、子機に対して「入」信号は送られません。運転時は、必ず一斉ON-OFFスイッチのランプ（緑）を点灯させてください。
- 初めて運転される時、またはガス配管を取替えられたときは、配管中に空気が入っているため1～2回の操作では点火しないことがあります。この場合は点火ミスとなり動作異常ランプが点灯しますので運転操作を再度やりなおしてください。

## 停電後の使用方法

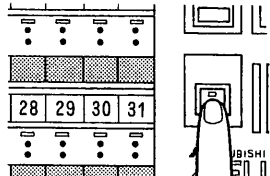
運転中、停電したときは各「クリーンヒーター」は自動的に停止し、親機も運転指令を解除します。再通電されましたら一斉ON-OFFスイッチを押して、スイッチ内部のランプ（緑）が点灯することを確認してください。（親機は子機に対して停電前の状態で運転指令を送信し、各「クリーンヒーター」は運転を再開します。）

## 運転停止

### ■個別に「クリーンヒーター」を停止させる場合

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 運転停止させたい部屋番号の運転スイッチを押します。<br>●運転指令ランプ（赤）が消灯し、運転モニターランプ（赤）も約5～10秒後に消灯します。<br>●「クリーンヒーター」の送風機はしばらく運転を続けて器具を冷却し、数分後に停止します。 |  |
|---|---|---|

### ■一斉に「クリーンヒーター」を停止させる場合

|   |   |   |
|---|---|---|
| 1 | 一斉ON-OFFスイッチを押します。<br>●一斉ON-OFFスイッチ内部のランプ（緑）が消灯し、運転モニターランプ（赤）が約5～10秒後に消灯します。<br>●「クリーンヒーター」の送風機はしばらく運転を続けて器具を冷却し、数分後に停止します。 |  |
|---|---|---|

### 〔ご注意〕

- 停止は、一斉ON-OFFスイッチまたは運転スイッチで行い、電源スイッチを「OFF」にして、すべての子機「クリーンヒーター」を停止させることはしないでください。

## 一斉ON-OFFスイッチの機能

この一斉ON-OFFスイッチを操作することによって「クリーンヒーター」を一斉に運転または停止することができます。

（運転スイッチの状態は、電源スイッチをOFFにしても内蔵の電池によって記憶されていますので、電源スイッチをONにすると前の状態が表示されます。）

### ■前回運転したままの状態でも運転させる場合

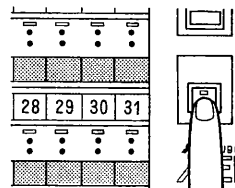
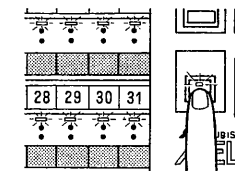
一斉ON-OFFスイッチを押して、内部のランプ（緑）を点灯させてください。

- 運転指令ランプ（赤）が点灯している子機に対して、一斉に運転指令が送信されます。「クリーンヒーター」が運転を始め、運転モニターランプ（赤）がつつぎと点灯します。

### ■運転中の「クリーンヒーター」を一斉に停止させたい場合

再度、この一斉ON-OFFスイッチを押して、内部のランプ（緑）を消灯させてください。

- 親機は運転指令の送信をやめます。約5～10秒で運転モニターランプ（赤）はつつぎと消灯します。運転指令ランプ（赤）およびプログラム運転ランプ（緑）の状態は変わりません。

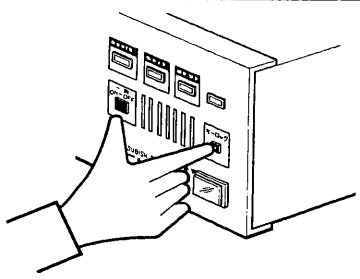


# 3 使用方法 (3)

## キーロックスイッチ機能

設備管理者以外の人の「誤操作」および「いたづら」を防止するためのキーです。

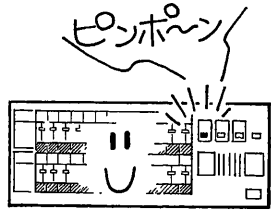
- ① 運転する部屋番号の運転スイッチを押してください。
  - ② キーロックスイッチを押してください。
- スイッチ内部のランプ(赤)が点灯し、親機の運転スイッチの操作はできません。ただし、一斉ON-OFFスイッチによる一斉動作は可能です。



## リクエスト機能

各部屋から親機に対して、運転または停止を要求したい場合に使用します。

- ① 子機に接続した押ボタン(市販品)を5秒以上押し続けてください。
- 親機の該当する部屋番号の運転モニターランプ(赤)が点滅し、リクエストランプ(緑)が点灯すると同時に“ピンポン”と呼び出し音がでます。(呼び出し音、モニターランプの点滅は、押ボタンが押されている間続きます。)
- ② 呼び出し音がでたら、該当する部屋番号の運転スイッチを押し、「クリーンヒーター」の運転または停止を行ってください。



## 警報音量調節

親機の警報音量を調節するためのものです。親機背面の警報音量調節つまみにより、適当な音量に調節してください。

- 通信異常・動作異常・リクエストがあったとき、および親機の運転キー、一斉ON-OFFスイッチ・キーロックスイッチを押した場合のキー音の音量調節ができます。



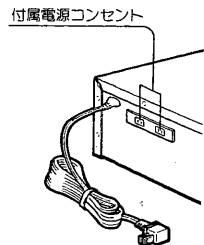
## 付属電源コンセント

週間プログラムタイマーと連動させる場合、および親機を複数台運転させる場合に、このコンセントより100V電源を利用することができます。

- この付属電源コンセントより取出せる電力容量は、2口で最大500W・(5A)までです。

### 【ご注意】

- 親機、週間プログラムタイマー以外の機器の電源には絶対に使用しないでください。



## 別置サーモ(別置サーモが接続されている場合)

「クリーンヒーター」の室温調節器(ルームサーモ)以外の別置サーモで室温を調節する場合に使用します。

### 〈別置サーモの使用方法〉

- 子機に、市販品のバイメタルサーモなど(接点出力を有するもの)を接続し、このサーモの接点が「OFF」すると、その部屋番号の運転モニターランプ(赤)が点灯して、「クリーンヒーター」は運転状態となります。サーモが「ON」すると、運転モニターランプ(赤)が消えて「クリーンヒーター」も停止します。
- 別置サーモの室温調節を適温に設定してください。
- 「クリーンヒーター」の操作ドア内の室温調節つまみを「連続燃焼」の位置に設定してください。
- 別置サーモにより「クリーンヒーター」は運転・停止を行い、室温を調節します。
- 別置サーモにより停止している場合は、運転モニターランプ(赤)が点灯します。

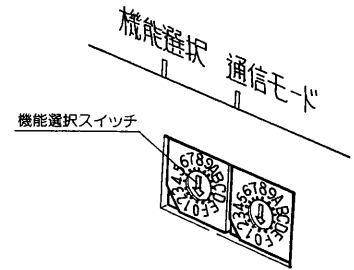
## 機能選択

このスイッチは、ロータリーテップスイッチで、スイッチの番号位置により、親機の種類機能を選択します。

### スイッチ番号

- 0番：親機1台モードで、通常は「0番」にセットしてあります。
- 1番以後は特殊モードの親機仕様です。

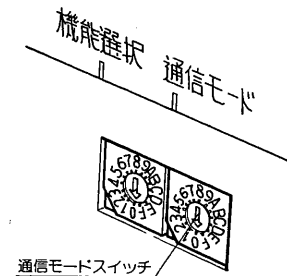
- このスイッチは、あらかじめセットしてありますので、サービスマン、または工事業者以外は触れないでください。誤った位置にセットすると、システムとして動作しません。



## 通信モード

このスイッチはロータリーテップスイッチで、通信ポールの設定用です。あらかじめ工場出荷の際には「0」番にセットされており、このスイッチの番号位置を変更しないでください。

- このスイッチは、あらかじめセットしてありますので、サービスマン、または工事業者以外は触れないでください。誤った位置にセットすると、システムとして動作しません。



# 4 故障・異常の見分けかたと処置方法

故障・異常早見表

| 現象   | 原因                                     | 処置方法  |
|--|--|---|
| 動作異常ランプが点灯し、警報音（ブザー）を発する。<br>（異常場所の運転モニターランプ（赤）が点滅する。） | ●「グリーンヒーター」にガスが供給されていない、またはガス圧が下がっている。 | ●部屋のガス元栓を全開にする。<br>●ガス会社に連絡をする。                         |
|  | ●「グリーンヒーター」の過熱防止装置が動作する。               | ●エアフィルターの目づまりを確認する。                                     |
|  | ●「グリーンヒーター」の電源スイッチが「切」になっている。          | ●電源スイッチを「入」にする。   |
|  | ●「グリーンヒーター」が故障している。                    | ●お近くの「三菱電機システムサービス(株)」へご相談ください。                         |
| 通信異常ランプが点灯し、警報音（ブザー）を発する。<br>（異常場所の運転モニターランプ（赤）が点滅する。） | ●「グリーンヒーター」の電源プラグが外れている。               | ●電源プラグをコンセントに差し込む。                                      |
|  | ●同軸ケーブル接続部の接触不良。同軸ケーブルが断線、またはショートしている。 | ●通信異常が発生している部屋の運転スイッチを切り、お近くの「三菱電機システムサービス(株)」へご相談ください。 |
|  | ●子機が故障している。                            | ●お近くの「三菱電機システムサービス(株)」へご相談ください。                         |
| 運転指令ランプ（赤）が点滅する。                                       | ●「グリーンヒーター」の運転切換スイッチが「個別運転」になっている。     | ●運転切換スイッチを「集中管理運転」にする                                   |
| 電源スイッチのランプ（緑）が点滅する。                                    | ●電池が寿命。                                | ●電池を交換する。   |

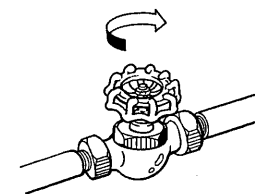
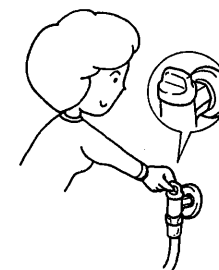
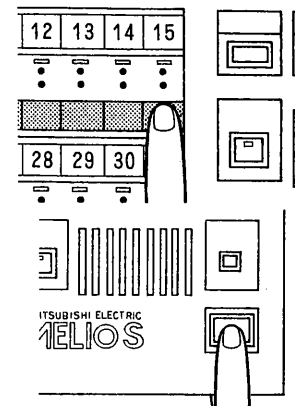
以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、お近くの「三菱電機システムサービス(株)」にご相談ください。この間、暖房を必要とするときは、通信異常時のみ、「グリーンヒーター」の運転切換スイッチを個別運転に設定すると、親機での集中管理運転から切り離されて、「グリーンヒーター」の個別運転を行うことができます。

# 5 保 管

保管（長期間使用しない場合）

長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、次の要領でお手入れしてください。

- 親機の運転スイッチを押して「グリーンヒーター」を停止させ、全機の「グリーンヒーター」が消火したことを確認してください。  
●「グリーンヒーター」の確認ランプも消灯します。
- 親機の電源スイッチをOFFにしてください。  
●電源スイッチ内部のランプ（緑）が消灯します。
- 親機、「グリーンヒーター」ともに電源プラグをコンセントから抜き、コードをまとめておいてください。（雷の多い地方では、必ず抜いておいてください。）  
●「グリーンヒーター」の電源プラグが差込んでありますと、子機に通電されています。
- 部屋のガス元栓を閉めてください。
- ガス集中配管「グリーンヒーター」用の元バルブも閉めておいてください。
- 「グリーンヒーター」に同梱の「取扱説明書」に基づいて、「グリーンヒーター」の保管を行ってください。



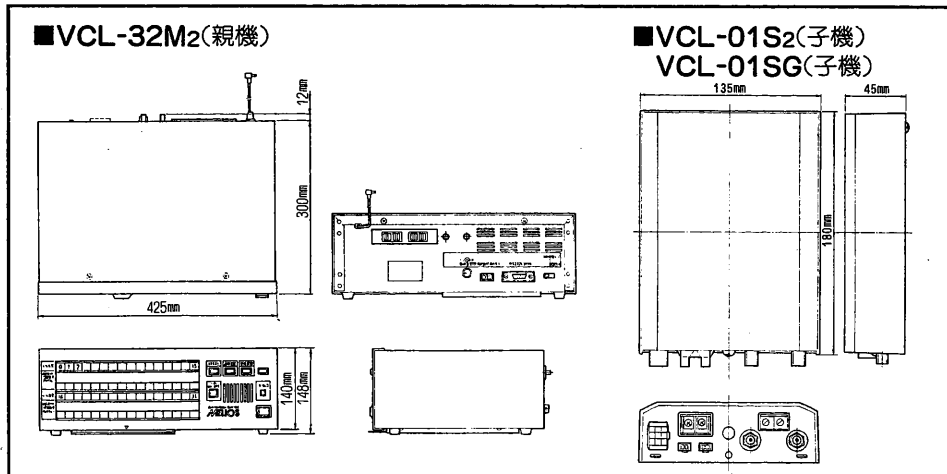
暖房シーズンの初めには、シーズン前の点検をお近くの「三菱電機システムサービス(株)または工事業者」に依頼してください。

# 6 仕様

## 仕様一覧表

| 形名        | VCL-32M2                   | VCL-01S2・VCL-01SG     |
|-----------|----------------------------|-----------------------|
| 子機制御台数    | 最大32台(同一部屋番号2台同時運転の場合は64台) |                       |
| 通信距離      | 総延長2km                     |                       |
| 信号線       | 5C-2V(同軸ケーブル)              |                       |
| 分配器       | 同軸ケーブル1系統あたり直列最大3個(VCL-2B) |                       |
| 温度範囲      | -10℃~40℃                   | -10℃~60℃              |
| 電源        | AC100V±10% 50/60Hz         |                       |
| 消費電力      | 20W                        | 5W                    |
| 外形寸法      | 高さ148mm×幅425mm×奥行300mm     | 高さ180mm×幅135mm×奥行45mm |
| 質量        | 6.0kg                      | 0.6kg                 |
| 電源コード     | 有効長2m                      | -                     |
| 付属電源コンセント | 合計 500W(5A)まで              | -                     |

## 外形寸法図



# 7 アフターサービス

## 保証書(別に添付してあります)

- ★保証書は販売店から必ずお受取りください。
- ★保証書は保証書に記載の条件、期間の無料修理をお約束するものです。販売店名、お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、大切に保管してください。
- ★保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

## 修理を依頼されるとき

取扱説明書の「故障・異常の見分けかたと処置方法」(10ページ参照)に従って調べていただきなおらないときには、次の処置をしてください。

### ■保証期間中は……

お買い求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って販売店が修理致します。

〈連絡していただきたい内容〉

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・形名・お買い上げ日
- 故障または異常の内容  
できるだけ詳しくお知らせください。
- 訪問ご希望日

### ■保証期間が過ぎているときは……

お買い求めの販売店にまずご相談ください。ご要望により有料で修理致します。

## 補修用性能部品の最低保有期間

- ★三菱 三菱電機株式会社「クリーンビーター」  
全熱交換形換気装置「ロスナイ」 集中管理システムの補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

- ★お買い求めの販売店またはお近くの「三菱電機システムサービス㈱」にお問い合わせください。

# 8 定期点検

## 定期点検のおすすめ

「集中管理システム」および「クリーンヒーター」を最良の運転状態で末長くご使用いただくためには、お客さまの正しいご使用と同時に定期的な点検が大切です。

これは自動車の定期点検にあたるものです。故障がおきてからの修理には、たいへんな費用と時間がかかり、お客さまにご不便をおかけすることにもなります。

そこで保証期間終了後のお客さまには、専門家による定期的な点検(有料)のご契約をおすすめいたします。ご契約いただきますと定期的にお伺いしてシステムの点検はもちろん、その他各部の点検を行い、システムを最良の状態でご使用いただけるようにいたします。ぜひともご契約賜わりたくお願い申し上げます。

### 定期点検の内容

| 項目          | 内容   |
|-------------|--|
| 集中管理システムの点検 | クリーンヒーターの運転、警報機能の確認、通信ケーブルの接続確認  |
| クリーンヒーターの点検 | 据付状態・機器破損の確認、燃料(ガス)漏れの点検、絶縁性の点検<br>暖房機能・操作性の点検、燃焼状態の点検、安全装置の動作点検<br>フィルターなどの簡易清掃 |

### 定期点検の結果

異常が発見された場合は、お客さまとご相談のうえ、実状にあった修理またはオーバーホールをお見積りのうえ行います。

### お申し込み先

三菱電機システムサービス(株) (下記を参照ください)

## 三菱電機システムサービス(株)

北海道支店  
札幌市中央区北2条東12丁目98-42  
電話 <011> 221-5271 〒060-0032

東北支店  
仙台市若林区大和町2-18-23  
電話 <022> 238-1770 〒984-0042

関越支店  
大宮市大成町4-298  
電話 <048> 651-3221 〒331-0043

東京商品支店  
東京都世田谷区池尻3-10-3  
電話 <03> 5431-7722 〒154-0001

北陸支店  
金沢市小坂町西97  
電話 <0762> 52-8246 〒920-0811

中部支店  
名古屋市東区矢田南5-1-14  
電話 <052> 721-0136 〒461-0048

関西支店  
大阪市北区大淀中1-4-13  
電話 <06> 454-3913 〒531-0076

中国支店  
広島市南区大州4丁目3-26  
電話 <082> 281-4181 〒732-0802

四国支店  
高松市花園町1丁目9-38  
電話 <087> 831-3190 〒760-0072

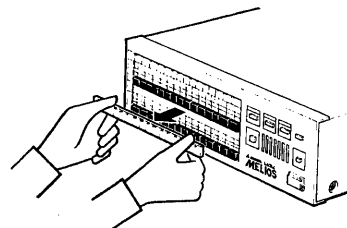
九州支店  
福岡市中央区那の津1-4-5  
電話 <092> 771-7663 〒810-0071

# 9 子機の登録

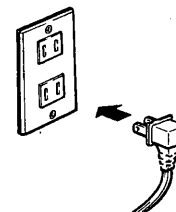
子機の登録は、工事業者またはサービスマンにより、あらかじめ登録されているので再登録する必要はありません。

## 子機の登録

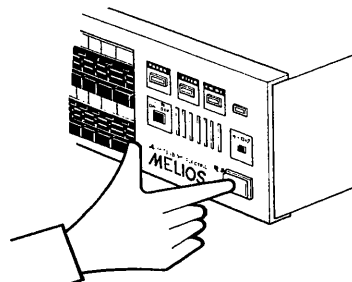
1 ルーム番号カードを外し、使用場所名を記入します。



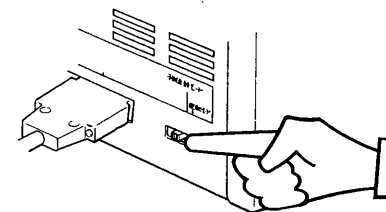
2 電源プラグをコンセントに差し込みます。



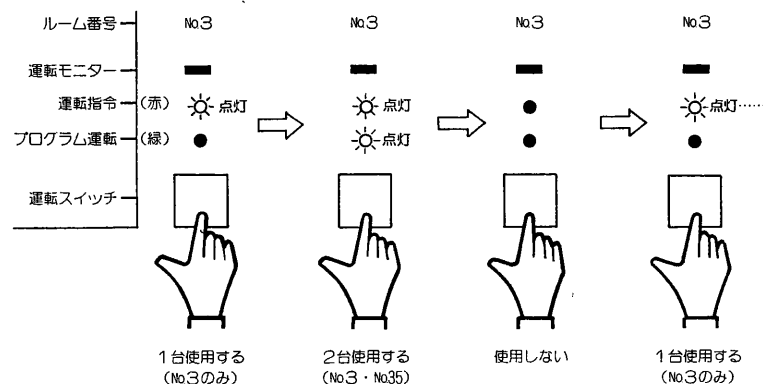
3 親機の電源スイッチを押します。スイッチ内部のランプ(緑)が点灯します。



4 親機背面のモード切換スイッチを、子機登録モードにします。

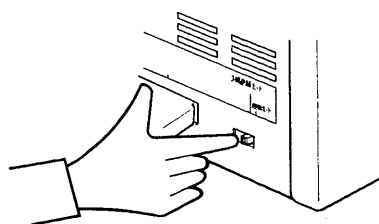


5 ご使用になる部屋の運転スイッチを図のように押して子機を登録します。詳細は据付工事説明書に記載されています。(子機番号については次のページをお読みください)





**6** モード切換スイッチを、運転モードにします。  
 (このとき、運転指令・プログラム運転ランプは消えますが、親機への登録はされています。)



**【ご注意】**

- 子機登録モードではランプの点灯は、運転モニター・運転指令・プログラム運転のパネル左端の各表示と異なり、子機の登録状態を表示することになります。
- この登録データは、メモリーに記憶され、内蔵されている電池によって記録を保持されていますので、停電または電源プラグをコンセントより抜かれても、登録データは消滅しません。

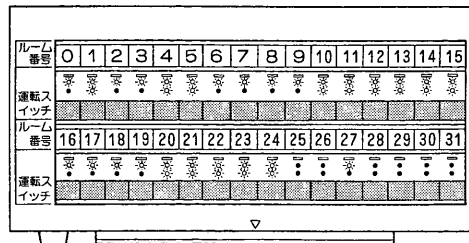
**1部屋2台同時運転の場合**

同一部屋番号に2台子機を使用の場合は、子機番号32～63までの番号設定が追加となります。0番と32番、1番と33番のようにペアで追加されます。32台分は、0番の部屋番号のところは32番となり、順番に割りつけます。

**《子機番号登録例》**

|                   |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |         |
|-------------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------|
| ルーム番号             | 0   | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |         |
| 運転指令<br>ランプ(赤)    | #0  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ←子機番号   |
| プログラム運転<br>ランプ(緑) | ×   | ○  | ×  | ×  | ○  | ○  | ×  | ×  | ×  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ←増設子機番号 |
| ルーム番号             | 16  | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |         |
| 運転指令<br>ランプ(赤)    | #16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | ←子機番号   |
| プログラム運転<br>ランプ(緑) | #48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | ←増設子機番号 |
|                   | ×   | ×  | ×  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  |         |

○印は登録されている部屋    ×印は登録されていない部屋



☀ は点灯  
 ● は消灯  
 [左図は、子機番号登録例による表示例を示します。]

● 登録が終わりましたら、各登録ランプが点灯していることを確認してください。

|                    |                           |           |
|--------------------|---------------------------|-----------|
| <b>お客さま<br/>メモ</b> | 形 名                       |           |
|                    | お買い上げ年月日                  | 年 月 日     |
|                    | お買い上げ店名<br>(住所)<br>(電話番号) | ( ) _____ |

サービスを依頼されるとき便利です。

**三菱電機株式会社**

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111